リュウマのガゴウ
THE PSEUDO-KNIGHT
8
HIROKI MIYASHITA
宮下裕樹
YOUNG KING COMICS

リュウマのガゴウ

THE PSEUDONYM OF R

8

宮下裕樹

HIROKI MIYASHITA

子供が嫌いか？
……
ひく
ひ
ひっ
自然出生率の大幅な低下
ぎゃあああ
おお
文字通りの子宝だということは重々に承知した上で
言わせて頂きます

得意では
ありません
ママッ
ママッ

泣かないでっ!!!
際限なく
母に甘え
がむしゃらに
理由なし
そして

掴んだものを
決して離さない

そんな所が……

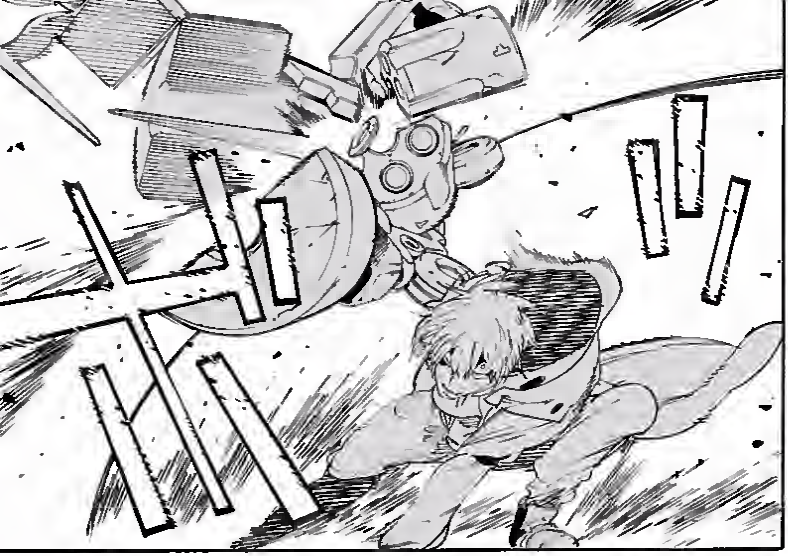
ヤバイ
ヤバイ
クルッ

あのガキ!!

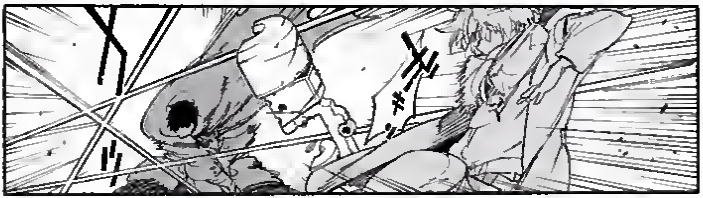
やるじゃん
不意打ちからずっとペースを握ってる

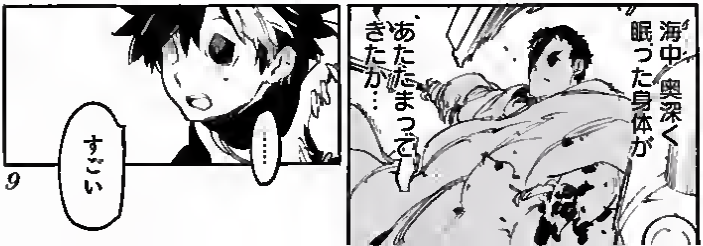
あの力…
おそらくお前と同種と見たがどうだ

ズーン
ハハハ…



一分の隙もない切り返し
超合金の芯を狂いもなく寸断するブレのなさ




海中、奥深く眠った身体が
あたたまってきたか…
……
すごい

これが剣技…
そうだ
あれこそ武王の剣技
あの紅の剣 同様
万の民を刹那に寸断するために
認知の外に殺めるために
磨き抜かれた修羅の剣

そんな武王の背を
ただひたすらに
追い続けた男
ただひたすらに
何十
何百
何千と…
剣を交わし続けた

数百年の時を越え
あれだけの回復を
行えるものなのか…
対して こっちは
満身創痍
……
やるしか
ないか…
ジンの意識
への介入
世界樹と
分断されてる
とはいえ…
僕の自我が
どれだけ保つか…
すごい
こんな
すごいんだ…
剣技って…
端で見てた時
以上に…
対時した時の
プレッシャーが
万倍すごい

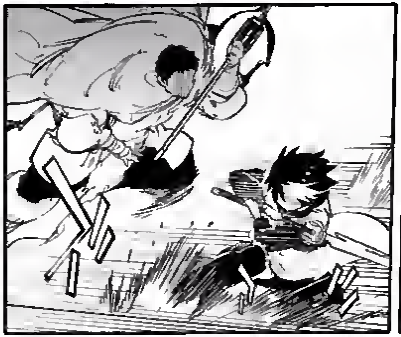
剣筋も…
こう…
ビュッて…
目で追うのが
やっとで…
ロクサ
そうだ…
その煩悩さ
その好奇心…
これまでの境遇で
隠れてしまいがち
だったが
えっ
アレだよ
アレ
持って来てた
じゃん!!
ちょっと
だめ
だって
そんな所じゃ
ないって
あった
それこそ
だめじゃん
こんな所
置いとい
たら

母親ゆずり
ハハー
今のお前なら
のまれることも
ないだろ…
いいの!?
やってみろ
いざとなれば
ケツは
僕が持…
やだよ
マリオと
約束したんだ

ヤツハに
無理は
させない
こう持って
たしか…
ブッ
ブッ
こう!!
やばい
体勢が
崩れた

わっ

そうだ…
もっと…
コンパクトに
肘を畳んで



体の中心が
振り回され
ないように…

こうだ!!

あれ？
はじいたのに…
なんで？
ギ
ギ
ギ

危なかった
ママからもらった丈夫なこの歯じゃなかったら今ごろ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

ハッ
！
……
よく見ろ
よく見るんだ

はぁ
や…
さっきから
どんどん
ぶぁーって…

技と技との間がふわっと綺麗なんだ
でもその次はガンって

燃料庫
爆薬の準備
OKよ!!

退避状況は
5割弱
それじゃ駄目だ
レッドキャット団は
どうしてる
連絡
とれないわ!!
くそっ

マリオ!!
白皮が甲板に
上がりそうよ
シールド
ネットは!!
もう全部
使ったわ
あの弾は!?
あれは
試作弾
数がない
だめだ…全然
避難誘導できて
ない
連携が…
…まさか
この
土壇場で

幹部の奴ら…
いいんですか？
ガキの賭けになんざのってられるか
ワァァ
オラぁ

……約束したんだ
あいつと…これ以上…
これ以上…

ヤツハを…
キン

男と男の約束

……
ポタ…
ポタ…

こんな形で私の剣を止めるとはな…
刀を跳ね上げられた刹那…
あえて間合いを詰め…そして この所業…
苦し紛れのまぐれに過ぎません
ふ……

一体どれだけ
私の剣筋を読めば
こんな芸当が
できるというのだ…
……
まったく
その姿…

まるで
剣に憧れ

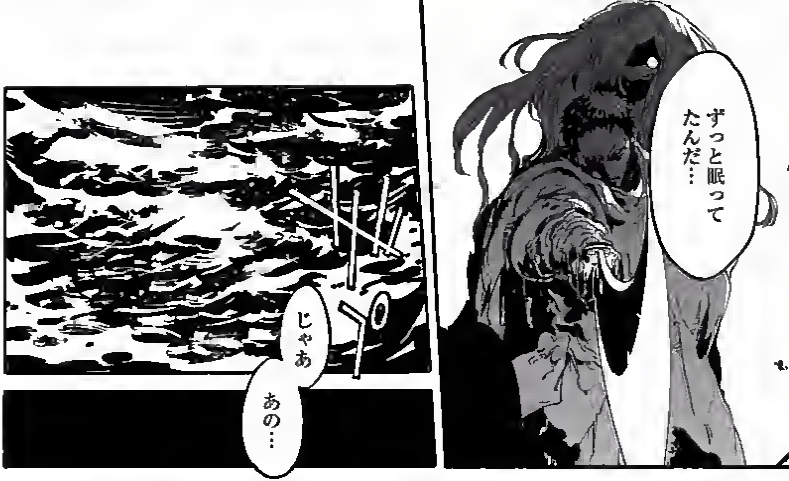
しがみつく
子供ではないか
際限なく欲しがり
甘え
掴んだものを決して離さない

だから
子供は
得意じゃない
誰にも

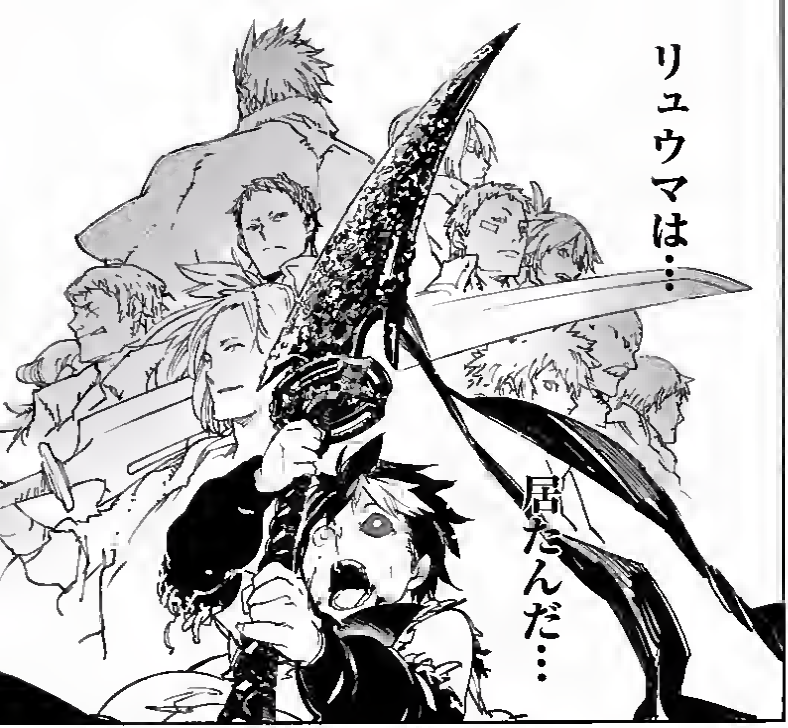
渡すつもりなど
ミリ…
なかったのだがな
くれてやる

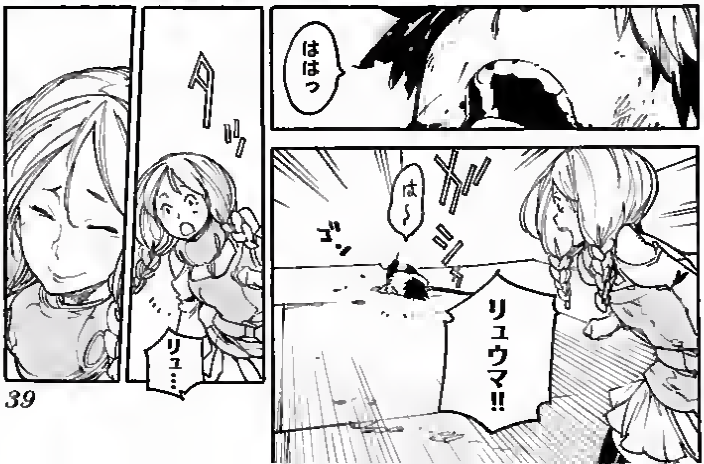
第43話／完

【第44話】


ずっと眠ってたんだ…
じゃあ
あの…

おとぎ話は
本当の話だったんだ
全部…


リュウマは…
居たんだ…


はは…
ダッ
リュ…
リュウマ!!
は〜
ゴッ

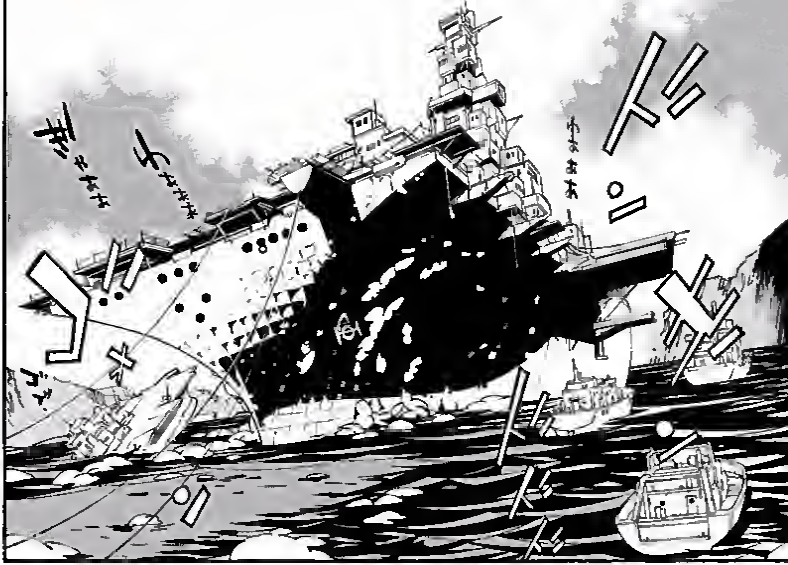
すがー
くがー
!

だめだ
沈む
ぞぉ!!

逃げ込むんだ
メインマスト
に!!

とても
こんな船じゃ
白皮をしのげない

だめ!!
メインマストは
爆破するの!!
このままここに
待機して!!
爆破!?
ふざけるな
!!
お願い!!絶対に
活路はあるから
話をきいて!!
マリオ…
お願い
早く!!



こんなの
白皮も人も
集まり過ぎて
どうにも
ならないわ
ディスポーザーの
ボス達が
集まったところで
もう…
もはや
暴徒よ
これ

燃料庫に
発破はしかけ
終わったんだ
心許ないとはいえ
セカンドマストを
横付けさせてる
退避する間だけでも
保つはずだ

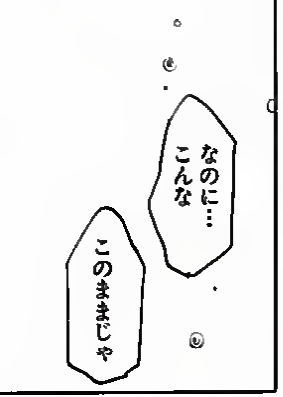
なのに
肝心のみんなを
まとめきれない
言うことを
きかせられない

なんで…
なんでだよ
言うこと
きけよ!!

バカ
野郎!!

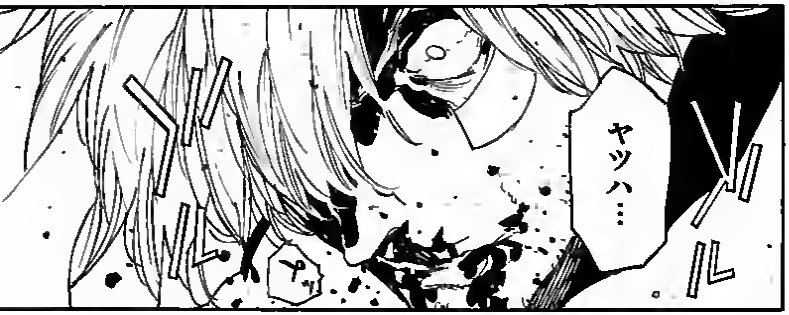
坊!!
駄目なんだよ
これじゃあ

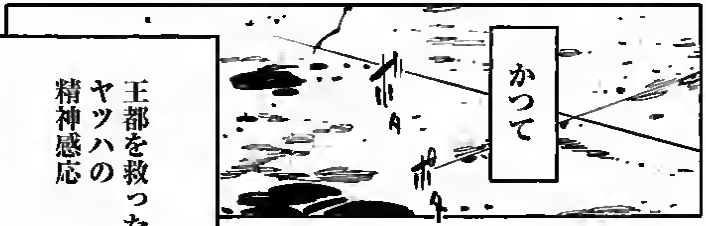
ヤツハに
任されたんだ


なのに…
こんな
このままじゃ

ヤツハが
なんとか
しちゃうだろ…

ギ
ギ…
お願い
やめて!!



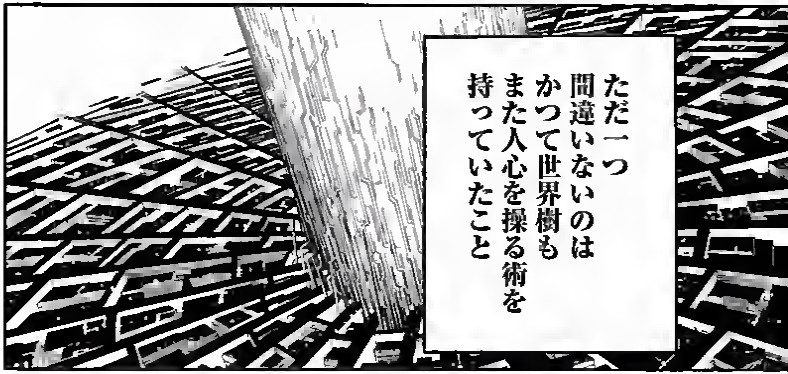


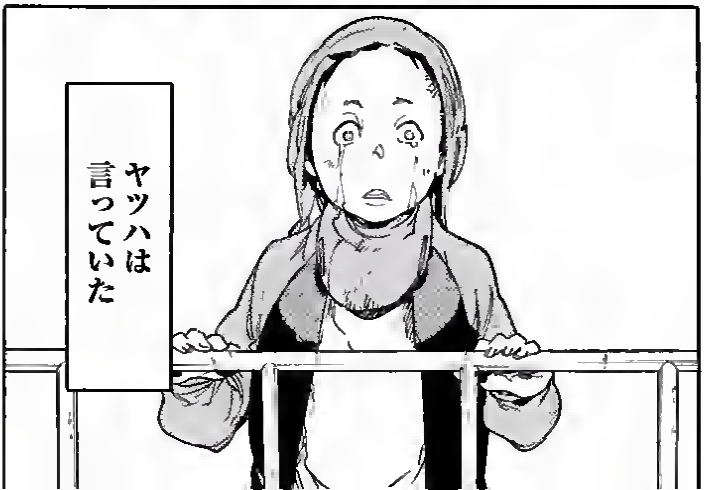
王都を救った
ヤツハの
精神感応

理屈は
わからない

何故
ジンに触れる
必要があったのか

何に感応
していたのか

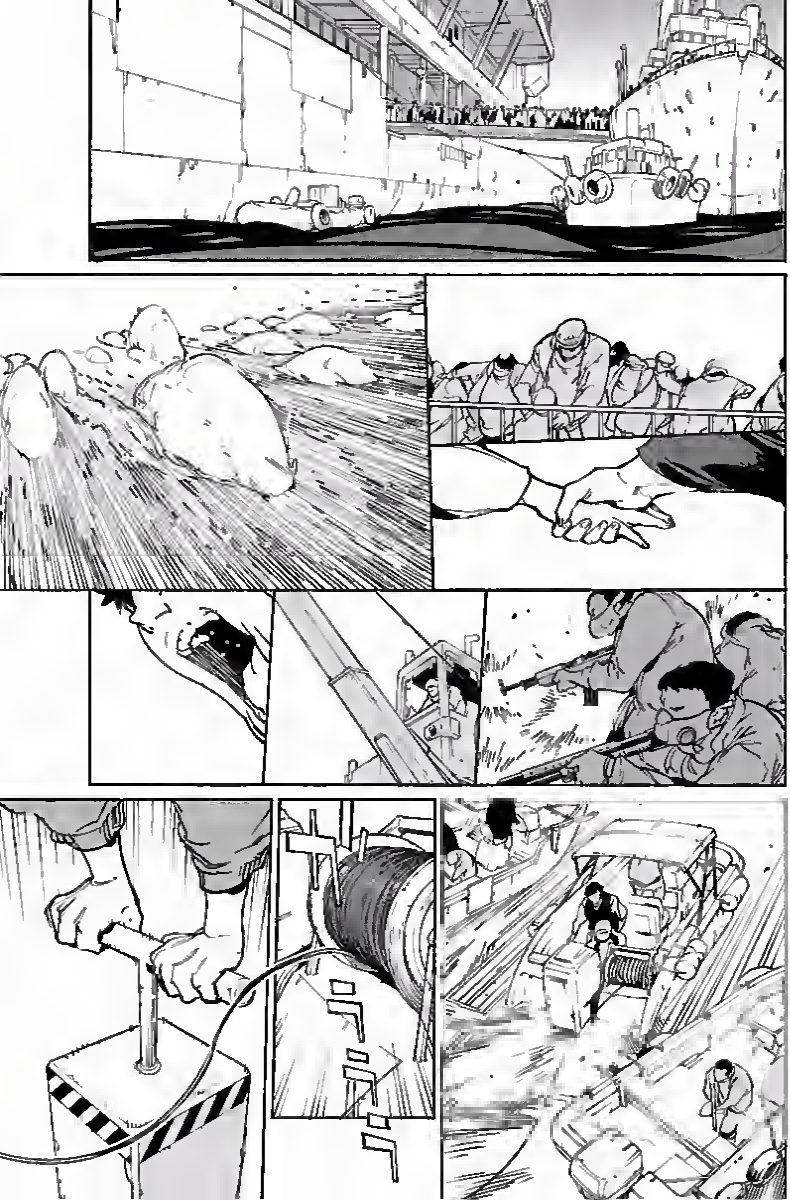




ヤツハの力は
紙一重なのだと
政の場 まさに今
民政を掲げた
ミズガルズにおいては
決してあってはならぬ
能力なのだと

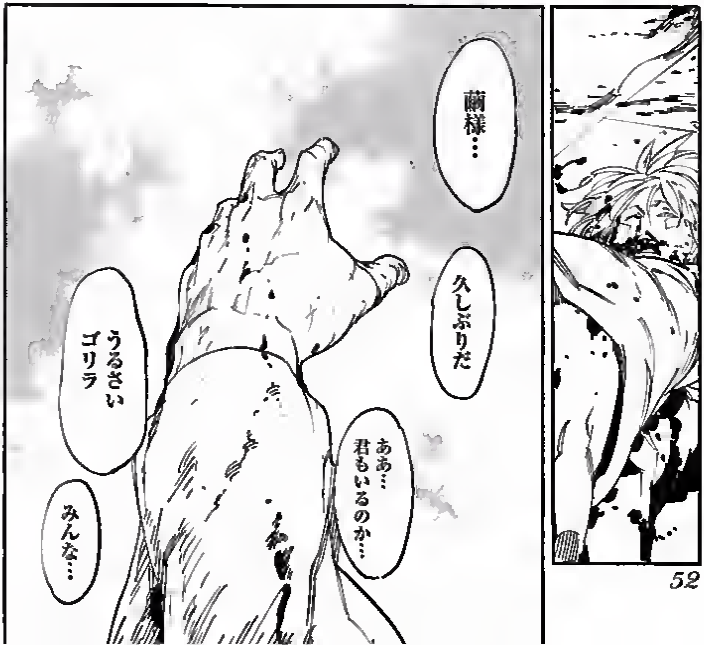
民意に
一抹の疑問すら
与えさせぬ
ために
ヤツハは
王都から離れた

リュウマは
自分のせいだと
泣くばかりで
ヤツハの言うこと
なんて聞いちゃ
いなかったけど
いつか
きっと
わかる
偉大なリュウマの
優しさと
勇気を

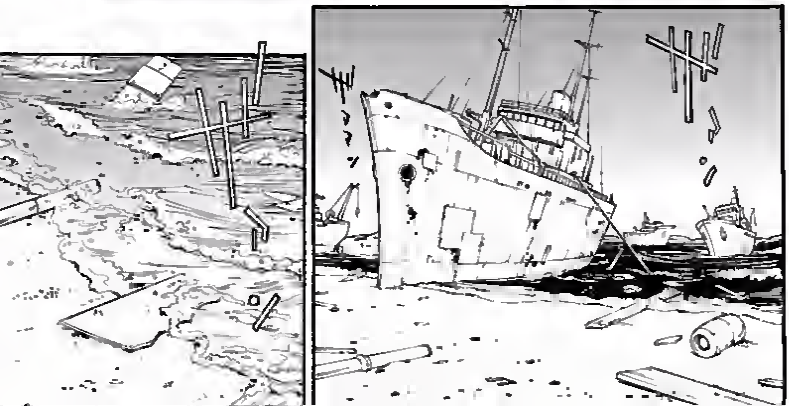


ああ

記憶が
溢れる…
過去が…


繭様…
久しぶりだ
うるさい
ゴリラ
ああ…
君もいるのか…
みんな…

リュウマ…



助かったのか
あの状況から
逃げ切った
？
白皮共から
くま～
……
オ…オレは
また
何も
できなかった
リュウマは
こんなに頑張ってた
のに…オレは…
ズゼッ
ヒック

ひ
ひっ
ヤツハに何も
いい…いい所…
見せ…見せ
られなかった
何言ってるのよ
最後まで
見てたわよ
だってあたしには
見えたもの…
あたしだけじゃない
あの場にいた
全員が見たのよ？
あの時の
坊の姿に
重なっていたもの
それは

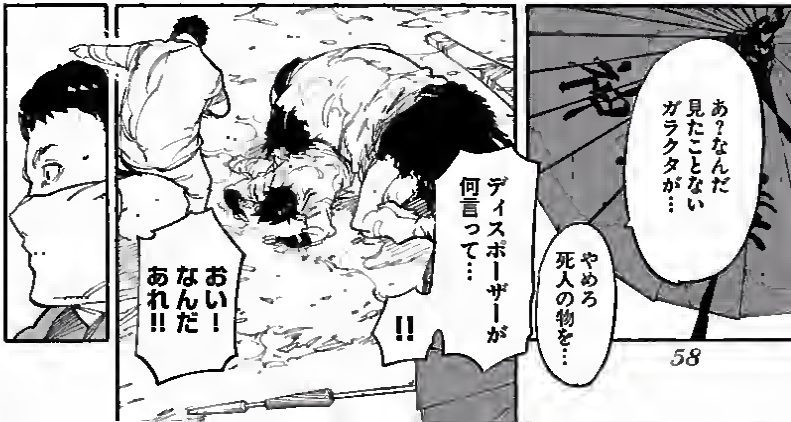
ヤツハが
望んだ
未来視(ビジョン)
逞(たくま)しく育った
あなたの姿が…
EAT

泣くな坊!!
いつまでも
メソメソと

父…ちゃん
ポ。
ポ。
男だろ!!
それに!!
やめなさいよ!!
生きてるんだから
もう!!
クソ重傷
だけど!!
日が昇る
!!
毒素が
蒸発し始め
るぞ!!
ケガ人に
マスクを!!
オレは
オレは…もっと
はやく大人に
なりたい…

もっと多くの人を
救えるように…

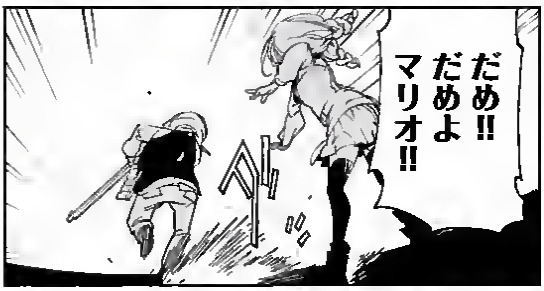
だめだ
こっちは…
そっちの
二人はどうだ?
無理だろ
海水に
どっぷりだ
ガラ


あ?なんだ
見たことない
ガラクタが…
やめろ
死人の物を…
ディスポーザーが
何言って…
!!
おい!
なんだ
あれ!!

子供？おい
大丈夫か!!
キズ…なおしてあげる
おい!! なんだあれ
きゃあああ

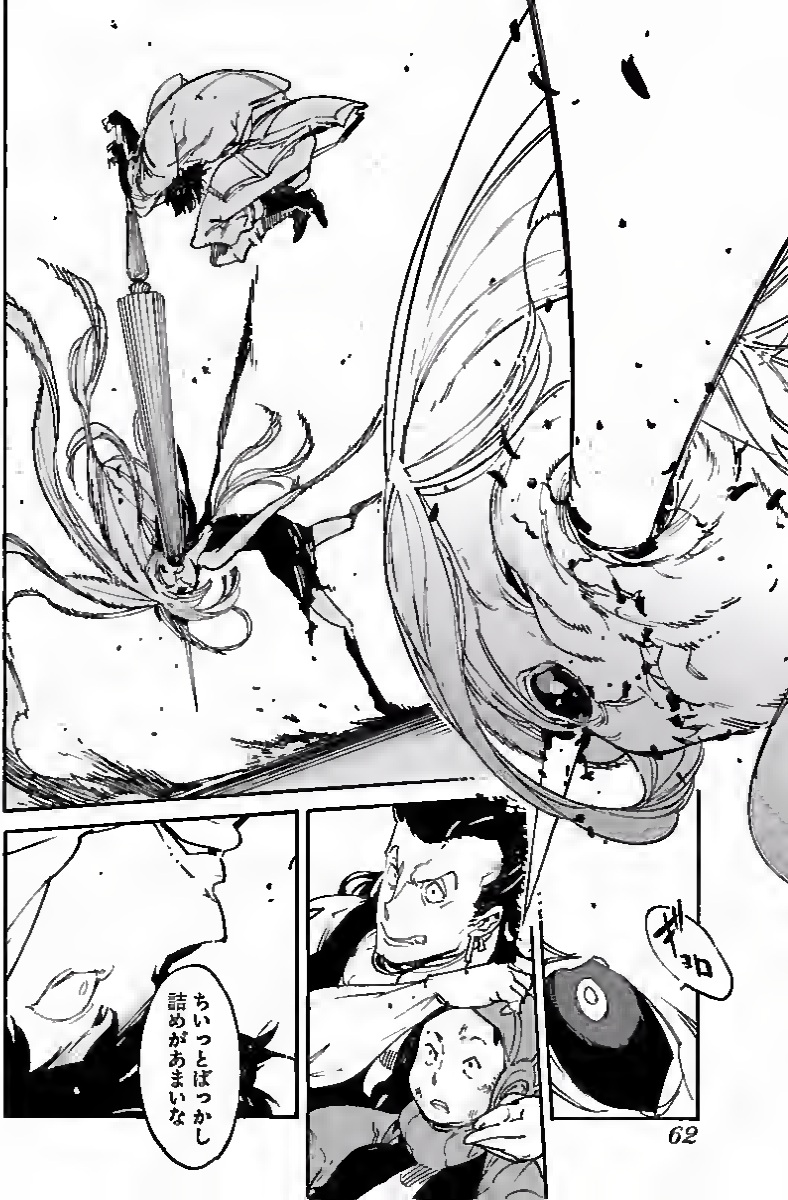
まだまだぁ!!

そんな…
どうして…


だめ!!
だめよ
マリオ!!

これ以上
頼れない
!!

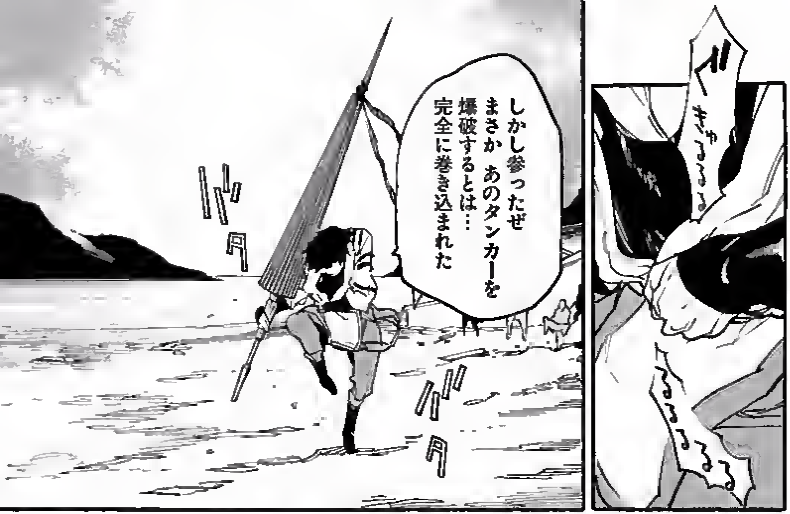
無理させられない!!
オレが!!
ドン
マリオ!!逃げてぇ!!


ロォ
ちいっとばっかし詰めがあまいな

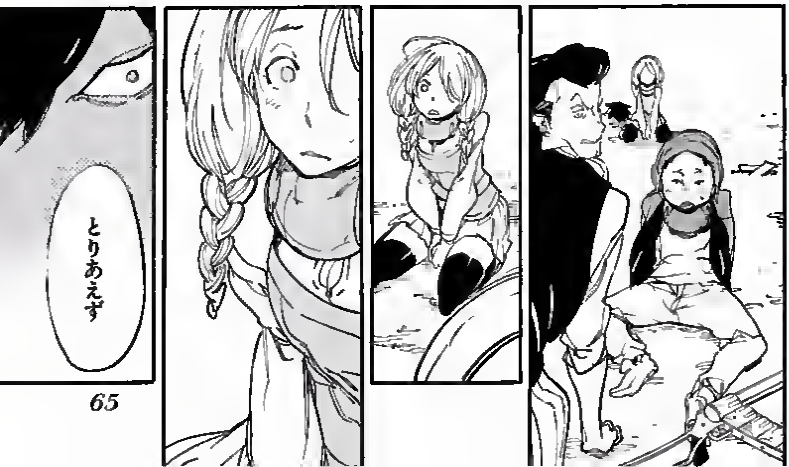
リュウマさん
たち よ

塵になりな

哀れな人形


キャラララ
しかし参ったぜ
まさか あのタンカーを
爆破するとは…
完全に巻き込まれた

生水ちょっと
飲んじまったか
腹の具合が…
まぁいい…


とりあえず

あんたら
わかってるよな？
返してもらうぜ
全部
まずは…
その刀だ

男だろ!!

リュウマのガゴ

答えろ新兵ども!!
人と
畜生を分ける
その決定的な違いとはなんだ!!

【第45話】

イエッサー
それは知恵であります
道具を扱い火を使う
知恵であります!!

たわけ!!
もっと根源的な違いだ
そんなものたけであの白皮の猛襲を退けられるか!!
ゴゴゴ
ゴゴゴ
…ミズガルズ防衛戦…
忌まわしき
リュウマ…
リュウマ…
美雄…
人と他を分ける決定的な違いとは
ざわ…
ざわ…

英雄の有無!!
!?
おいカイル一等兵!!
この新兵どもに教えてやれ
わぁぁぁぁ
決定的な違い…
それは

共感
他者への
感情移入による
直感的推察能力
っ…
やば
カイルだ
状況や立場に加え
相手の表情から
情報を汲み取り
empty
予測する
そして
個の行動を
紡ぎあわせ
最適化した
一連の流れを
造り出す

そうだ!!
それが
人間だ!!
そして
思い出してみろ
あの時の
奇跡を!!
ドッドン
この国中の
人間が一丸と
なって闘い
勝利した日を
共感の連鎖こそ
「英雄リュウマ」の
正体であった
ことを
リュウマなど
という個は
存在しない
共感の連鎖を
起こすためには
日々の鍛錬が
必要なのだ
そう我ら
ブシドーの……

ったく あん時の
ガキが…
3日会わざれば
刮目して見よか…
ハートだけは
一人前だったな
いいぜ
約束通り
腕立て
100回
コラー
10番隊が
あずかってやる

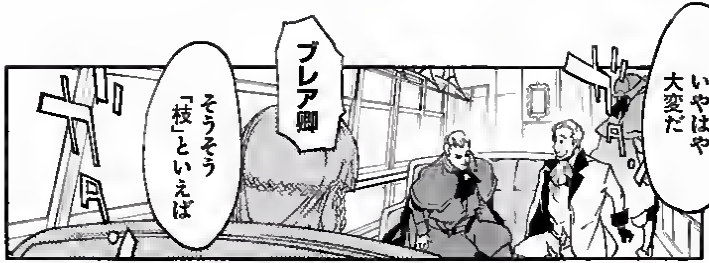
ドドド

ファイオ!!
ファイオ!!
よくできてたでしょう
この共感連鎖の下り
6年 唱え続けた
だけあってかなりの
浸透率ですよ
ガタン
ガタン
まぁ あながち
全てがデマって
ワケでもないですし
実際 彼は
巫子としての
特異な精神感応を
用いて
恐怖という
共感のもと
このミズガルズの
人々を繋ぎ合わせて
みせたわけですし

その彼が
何故ミズガルズを
去る必要があったのか
まぁ…
民政を行うに
あたって
その能力の
使用の有無を
問わず
あなたの治世の
妨げになると
考えたのでしょうな
アインス様

勝手な
奴らだ
おかげで
私は暫定的に
この地位に
就くことになった
あなたでなければ
軍も旧体制も二分し
混乱は続いていました
どうだか
いやいやいや
実際
ヤツハ殿は
その能力の
負荷により
やめろ
まぁ
こんな
問題だらけの国を
立て直そうだなんて
頭が下がりますよ
民政になった
とはいえ未だに…
いや

だからこそ
より貧富の差は
強調されていく
もちろん白皮への
警戒は健在
6年前の
惨事からの
復興だって
滞っている
要(かなめ)の壁から
街の区画整備
だって疎かには
できない
兎にも角にも
足りない
資源に資材
とても国営の
「枝」の回収班
だけでは
追いつかない
ならず者共(ディスボーダー)に
「枝」の回収を
手伝わせなければ
ならない


いやはや
大変だ
ブレア卿
そうそう
「枝」といえば

ゴオオオ
気になるのは
「枝」倒壊からの
環境の変化
しかも悪い方へ
チェンジ!!
……

これは
頭が痛い
ですがこれは
僕としては非常に
興味深い!!
ブレア卿
ねぇ
ボルドー
先生
……

本来であれば
生物生存可能域(ハビタブル)を
造り出すことが出来る
救いの手だった「枝」

そのオーバーテクノロジーの塊から人類の天敵が生まれているとなれば

畏怖の対象となるのも当然至極

しかし本当にただ その「枝」を切り倒し続けていいものなのか

ブレア卿

……

ん一実に興味深い

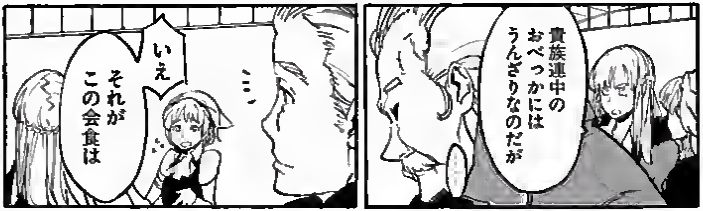
「枝」への調査隊是非に同行したかった!!

幽閉の身でなければ9番隊として同行できたのに…

ブレア卿座って下さい!!

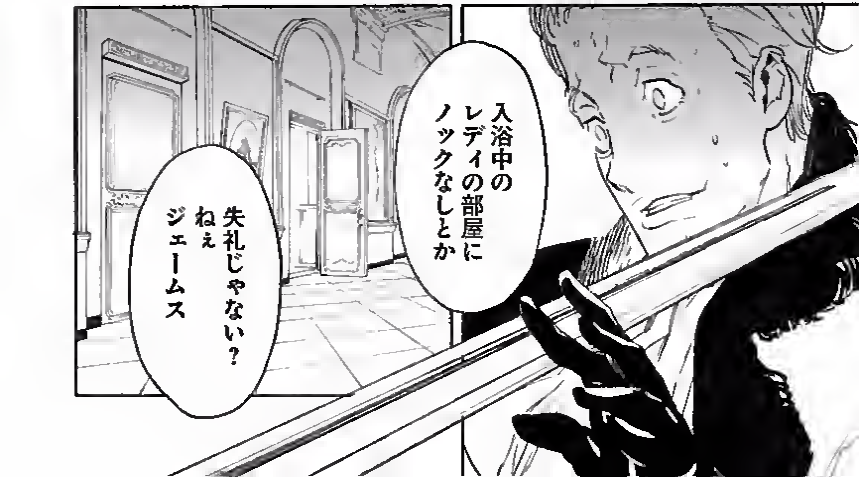
おっと失礼
昔を思い出して
喋り過ぎたか
かまわん…
私にとっても
興味のある話だ…
まぁ「枝」に関しては
調査隊の報告
次第ですな
色々と
申したが…
その全てが
途上の
この国だから
こそ
非常に興味が
そそられますよ
アインス殿

アインス様
お話の所
失礼します
今日の会食の
予定なのですが
会食？

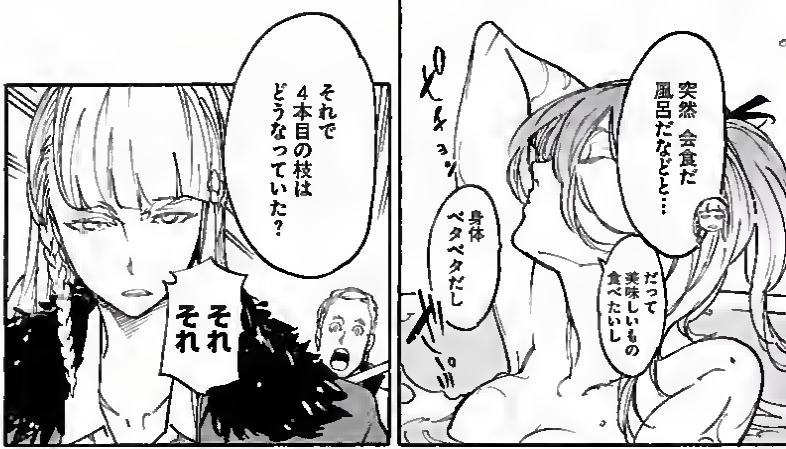

貴族連中の
おべっかには
うんざりなのだが
ニヤ
いえ
それが
この会食は

先ほど…「枝」の調査から
戻られた
7番隊隊将
シチハ様から
是非に…と

ちょっと~
いくら元皇族とはいえ
チャプ…


入浴中のレディの部屋にノックなしとか
失礼じゃない？ねぇジェームス

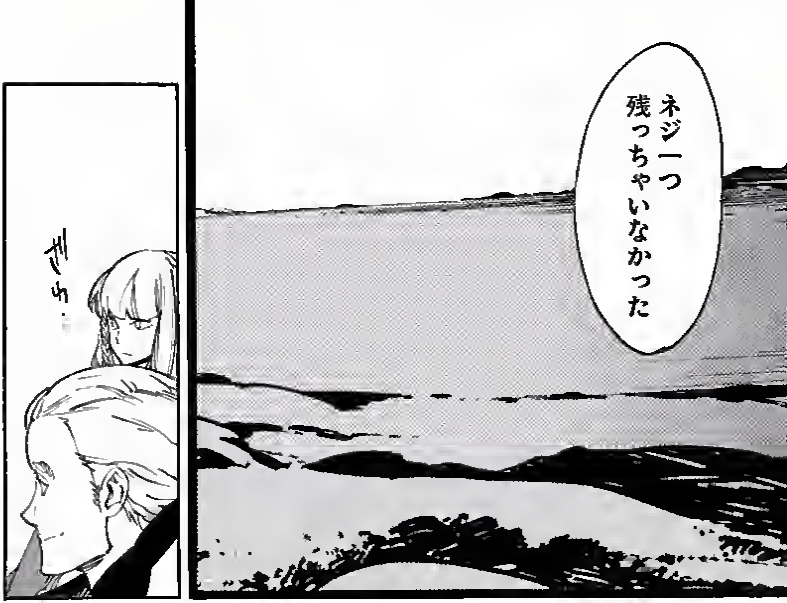
ああ…僕もそう思うよハニィ
ドドドドド
ははは僕の考案した電気車椅子使いこなせてるようだね
ご覧の通りですぜクノハ
今はクノハじゃ
剣を収めろ…まったく
元…か？
は～いアインス
いきなりはそなただシチハ報告の一つも入れろ


突然 会食だ
風呂だなどと…
だって
美味しいもの
食べたいし
身体
ペタペタだし
それで
4本目の枝は
どうなっていた？
それ
それ

それがぁ
ちょっと
問題あった
から
直で伝える
ために
連絡なしで
帰って来たの

……
なるほど…
問題!!
ほう!!
ヒラ
OK
ハニィ
ジェー
ムーズ
4本目の枝
ヒラ

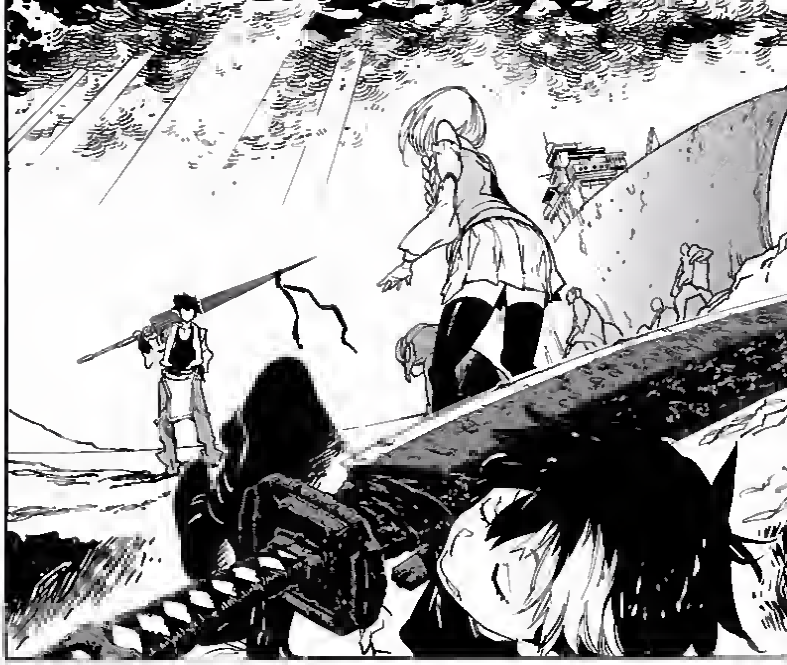
結論から言わせてもらうと
何もなかった
ほう！
7番隊は無能揃いだと!?
……
違う 成果がなかったって意味じゃない
「枝」あの超大質量の多層構造物そんなものが崩れた跡地だってのに
そこには…


ネジ一つ
残っちゃいなかった
ずいぶん…

ディスポーザーの仕業？
ありえないな
数十年かけてまだ2本目すら回収しきれない程の質量だぞ

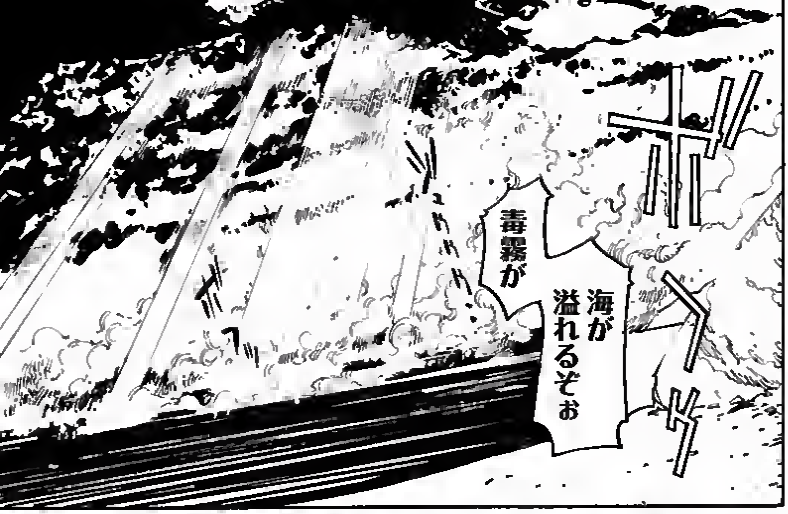
何も無かった
そう
何もかも消えた沼地にただ一つ…

一本の旗だけが
立てられていた…
返してもらおう



刀だけじゃない
これまでの
ツケ…
数百年分の
ツケを
今から

?…何を
言って
……
来るぞ
——!!
日が差してる
海が
蒸発を
始める…


海が
溢れるぞぉ
毒霧が

よりによって
こんな時に
マスクを
着けろぉ
ケガ人にも
マスクを
配れ!!

マリオ!!
ヤツハに
マスクを
!
ちょっとあなた
マスクは!?

！
使って!!
予備の
早く
早く
どうして
着けない
の!!
バカ
なの!?
ズゴゴゴ

ゾロ
ゾロ
!
は
壊れて
やがるっ!!
なんで…?
必要ない
!
え!?
オレ達の
国は…
こんな
もんじゃない
ニヤ…
オレ達が
育った環境は…
スタ

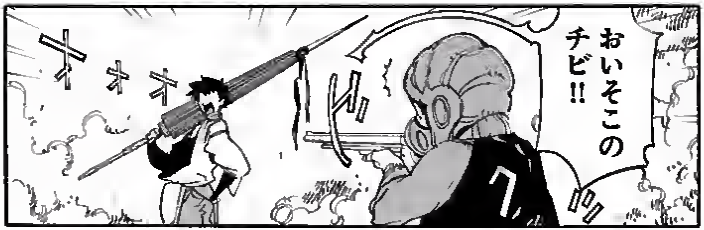
地獄だ

あんたらの
ツケがどれだけ
高くつくか…
分かってん
だろうな

!!
そのマスク寄越せぇ!!
これは…
オレのもんだ

触るな!!
な…
何してんだ
あいつ!!?
……
まぁいい…
カカ…
カカカ…

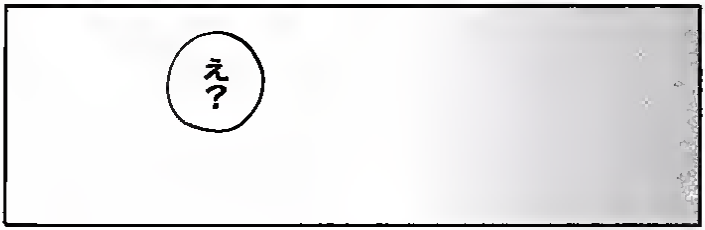
女から奪い取るってのもな…
まして裏てるガキから
スピー


おいそこのチビ!!

そいつらが起きたらその丘の廃墟まで持ってこい
それまで

このお姉ちゃんは
あずかっとく

え？
え？


え？

そうだ!!
それが
人間だ!!
ドン
ドッ・・ドッ・・

配給
オレぁ
首都に行く
ちょっと！
ギリ…
ギ…
ふぬぬぬぬ

巻き上げられた塵により
太陽光は遮られ
底冷えし始めた星
軌道修正杭により
地軸を傾け
太陽光を
独占し
生物生存可能域を
局所に集める事で
人類は生き存えた
生と死の境界
ハビタブルライン
生存可能線
【第46話】

ミズガルズから
さらに東

生物生存可能線を
大きく越えた極東

その常闇の中に
かつて
亜細亜と呼ばれた
大陸は沈んだ

だが

白皮の脅威から逃げ
生物生存可能線
その境界に住む者達…

彼らは口を
揃えて言う

この闇の向こうに…

ケモノが
棲んでいると

ゴゴゴゴ

ゴゴゴ

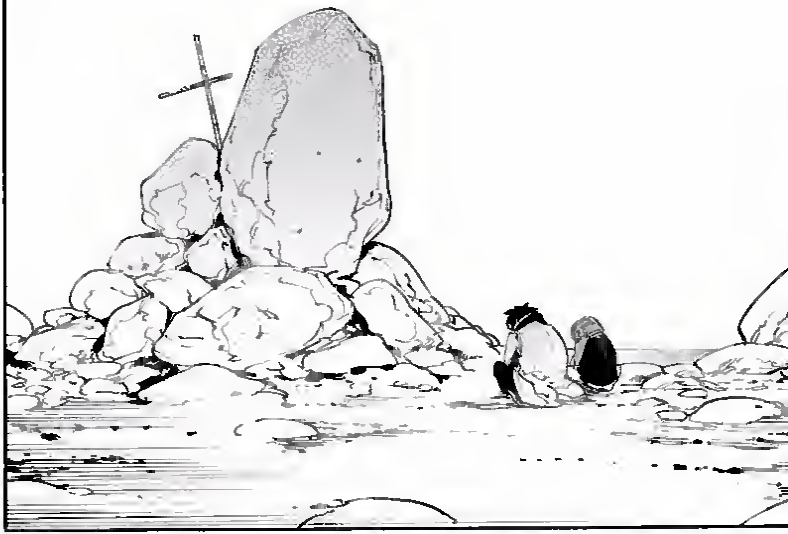
ゴゴゴ

神隠し伝

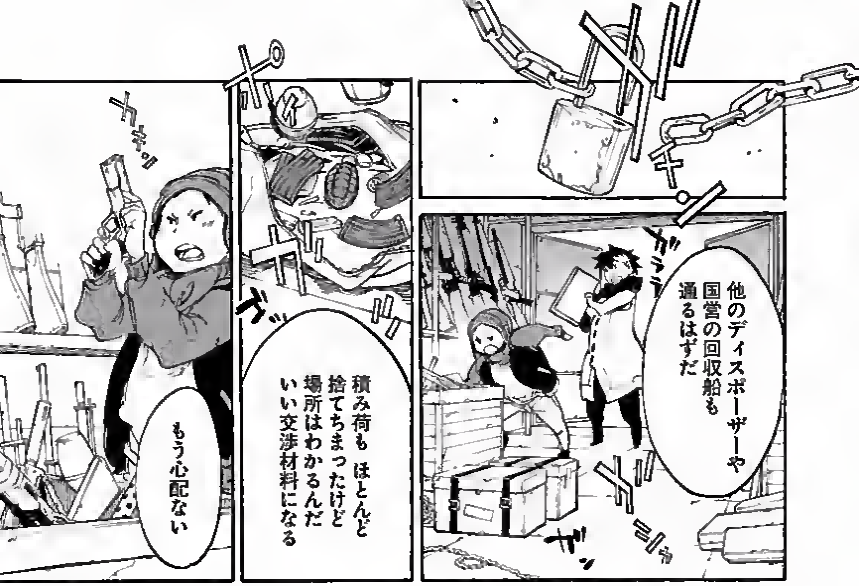
早く引き揚げろ
腐敗が進む!!
運河に
疫病を流行らせ
たいのか!!
ゴ。
ゴ。

どうだ…
動くか?
駄目だ
完全に座礁してる
こっちの船じゃ
とても収容
できんぞ
ドドドドド
ギャーン

!!!
いいから
早く直せ
キバッ



大丈夫だ
運河の入口までは
やってこられたわけだし


他のディスポーザーや
国営の回収船も
通るはずだ
ガラ
積み荷も ほとんど
捨てちまったけど
場所はわかるんだ
いい交渉材料になる
ガッ
もう心配ない
ガチャ

ヤツハも
父ちゃんが
看てくれてる
うちよ
ちょっとヤツハは
大丈夫なんで
しょうね!!
絶対
安静!!

そっか…
じゃあ
ああ
行こう

神州倭（かみすわ）？

あの…
おとぎ話の
神州倭…
そうだ

あの
ジン武王とか
リュウマとか
どっちが
どっちか
ややこしい奴？
そうだ

えーと
なんだっけ
かみすわ
大昔に戦争で
この星の裏側
から攻めてきて
でも それは
悪いリュウマが
仕込んだことで
ジン武王が
いいリュウマに
なって
皆を助けた
けど
神州倭は
ギセイになったって
かんじの？
大体
そうだ

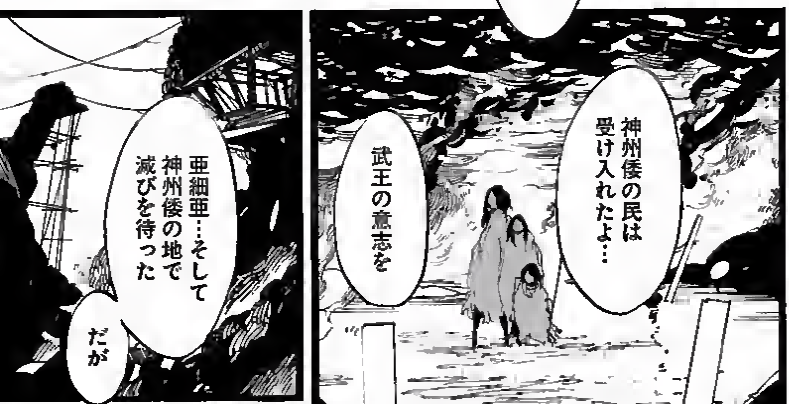
なんで
その
神州倭か
ロクサを
さらうんだよ!
ヂャあああ
落ち着け
リュウマ
わあぁっ!
だから
言ってるだろ
奴らの要求は
その万人斬り
神州倭の末裔
ならこだわる
理由もわかる
でも眠ってるお前から
無理矢理 尊いは
しなかった
それにあの
「ジン」から
助けてくれた
いい奴?
いや
わからない
ガラ…
ガシ
変な危うさは
あった…

ためたよ
この刀は
ハー
もらった
ばっかり
だもん!!
ギ…
ああ
わかってる
ぎゅ
それにだ…
神州侯だってのなら
おとぎ話の
真相みたく
ビュ
ヒュ
解ける誤解も
あるかもしれない
はぁ
はぁ

誤解なんかしてねえよ
え？
そのっ…
並列型多大脳構造体
世界樹…
俺達はそれを龍馬と呼び…
仁武王は

リュウマを
名乗ることで
ユグドランルの民を
救った
リュウマに
かえしがあるまい

俺達の中でも
武王は伝説だ
〝神〟にも等しい
存在だ


神州倭の民は
受け入れたよ…
武王の意志を
亜細亜…そして
神州倭の地で
滅びを待った
だが

その影響が
ギリギリの所で
神州倭を
生き存えさせた

武王が最期に
折った枝…

枝によって
狭められていた
生物生存可能域が
希釈し広がった
のさ…
……
その…
じゃあ
あなた達は
ところで
だ

姉ちゃん
あんた
かわいいよな
えっ
肌も白い
やわらかい
わっ
だあっ 待て!!
待て違うって
そんなんじゃ
ねえって!!
なんつうか
オレの国の
女共は
ぶっさいくの
小汚ぇのばっか
でさ
だー待て待て
折れる
折れる!!
違う
って!!

待てっ
待てって
言ってんだろ
話し
途中!!

既(すで)の所で
助かった
とはいえ

地獄なことに
かわりはない

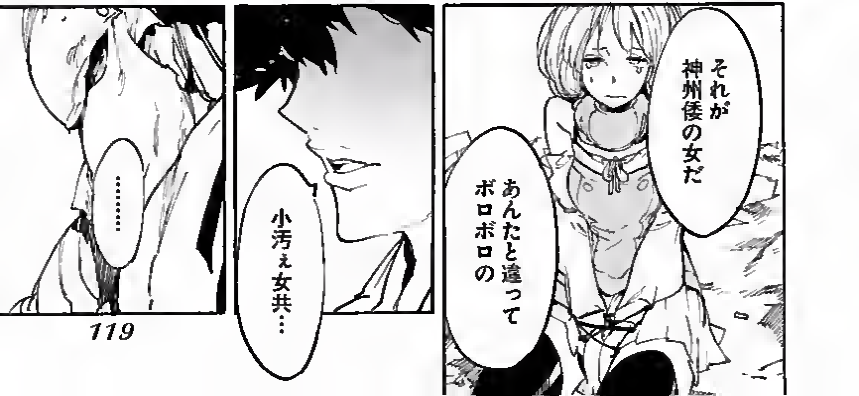
毒を
海流と風が
寄せ集め

日の光も届かぬ
果ての地
かろうじて育つ作物は
毒を吸い上げ
豚鳥(ブタドリ)すらも
毒まみれ

たとえ
耐性を持った者でも
長くて二十年の寿命
ねずみの如く
生まれては死ぬの
繰り返し
女は十を
数える頃には
子を孕み
産み
そして
耐性が弱い
赤子のために
必要以上に
作物を食し
自らの身体で
毒を分解し
漉し出し

乳を与え
育んだ
おい…
落ち着け…
落ち着けってんだよ
ロッ
はぁ

耐性を持って
いようが
身体は保たない
そんな事すれば
残った毒が
全身を腫らし
蝕む…
短い寿命を
更に削り
心すら
壊れ死んでいく
こいつの母親は
特にひどかった


それが
神州倭の女だ
あんたと違って
ボロボロの
小汚ぇ女共…
……

着飾らせて
やりてぇよな…
ちょっと
でもよ
あんたみたく
綺麗な
べべ着て
髪 結って
綺麗な
太ももも
さらして…

ドおおおお
まぁ
個人的に
あんたに
恨みがあるわけじゃねぇ
オレらの祖先も
一度は滅日を
受け入れた
だがな
限界だ

千年の飢えが
しきたりを喰らい
尽くした…
あんたも
見たはずだ
6年前
世界の財の
塊…
世界樹の枝を

神州倭の
ケモノ共が

飲み込む様を

止まりはしない
枝を
ミズガルズを
喰らい尽くすまで

飢えは…
満たされない

ミズガルズを？
千年のツケは莫大だ
……
そんな また人が争うことになるなんて…
ミズガルズの王次第だろうがね…
こんな…こんな世界なのにどうして
あんたの言葉は響かない

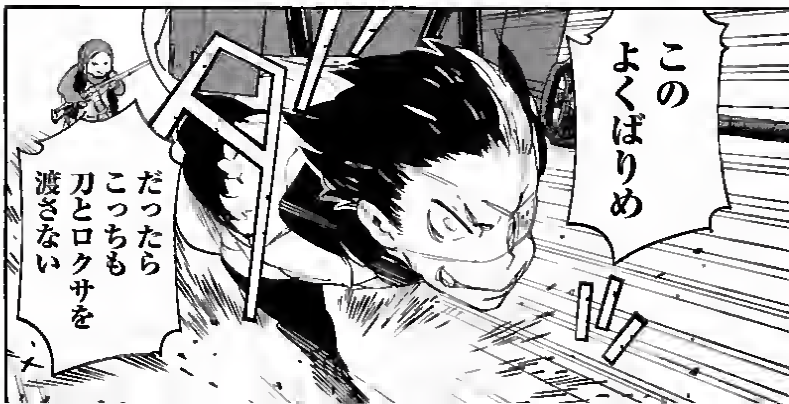
ウチの女共の
逞しさには遠く及ばない
まあ…
いい女ではあるがな
！
行きな姉ちゃん

目当てが
来たんさ

マリオ
リュウマ!!
ロクサ無事!?
変な事
されてない!?
バッ
バカっ

こんな風にか？

やっぱやめた
この姉ちゃんも
万人斬りも
頂くわ


このよくばりめ
だったらこっちも刀とロクサを渡さない

いいぜ力尽くは大好きだ
リュウマ!!その女 離すなよ
!! リュウマ？あのでかいのもリュウマなの!?
よそ見してんなコラァ

よそ見なんてしてない
ガム

(ちょっと)
ひょっほ
(チラ見
しただけだ)
ひはひ
ひただてぱ

[第47話]

こいつ…
ギリ
ギリ
あきらかに
この傘の理屈を
解した対策…
ただ一度
見ただけで
大した観察力だ
しかもその
ハンマー
共鳴破砕が最も
困難とされる
超々硬合金か
知るか!!
家にあった
一っちゃん硬いの
持ってきただけだ

いや…
こいつは
この傘を見てない
誰の入れ知恵だ
あの時
いた奴…
あのキモい
おっさんか…
やるじゃねぇか…
だが気にくわ
ねえなあ
どこにいやがる!!
出て来やがれ
ガキ共だけに
戦わせて
高みの見物って
わけか!!
あいつは…

オレ達を
ガキだと思って
完全になめてる
寝てるお前から
刀を奪わな
かったのが
いい証拠だ
いつでも奪えるって
余裕のあらわれだ
悪い奴じゃ
ないかもだが
ロクサが
さらわれてる以上
きっちり落とし前を
つける
どこだ
きたねえぞ

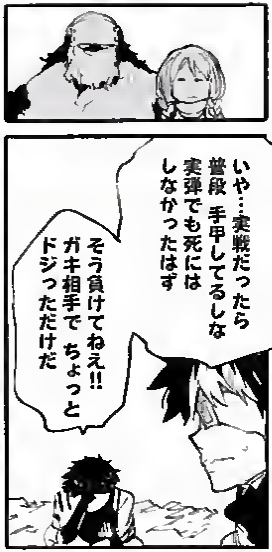
この剣技は…
！
くそっ

やられた…
傘を放り出させられるたあ
やるねぇキモいおっさん
そして
ッッ
何!?
それを実践するこの…
何!?
!!
しまっ…

だめ!!
マリオ!!
マリオ
なんてことを!
大丈夫だよ
多分死なない
ガシャ
スポンジ弾だよ
一応助けて
くれた奴だし
リュウマくらい
丈夫じゃなければ
3日は起きは…
バタ
いってええ
ええ
防いだ腕ごと
直撃するとは!!

なめてたわ
ニュッ
ポン
ズキズキ

目ぇ覚めたわ
しきりなおしだ
ガキ共


いや…実戦だったら
普段 手甲してるしな
実弾でも死には
しなかったはず
そう負けてねえ!!
ガキ相手で ちょっと
ドジっただけだ

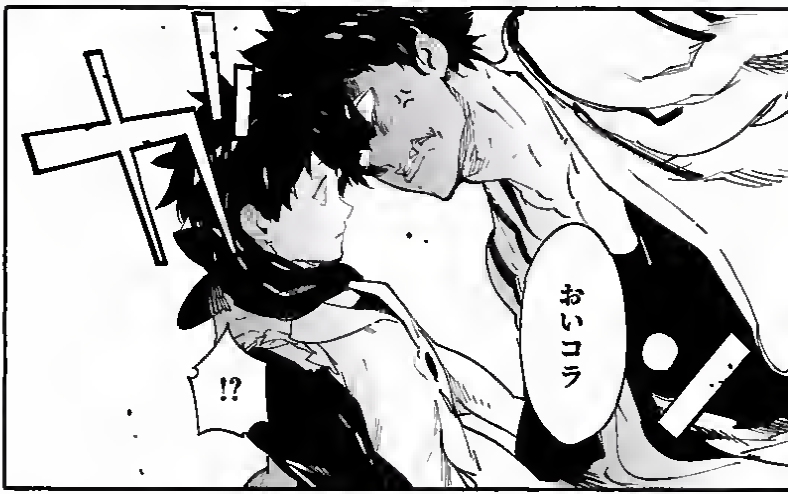
くるんじゃねぇ!!
オレ一人でやる!!

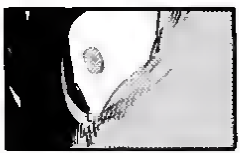
ぜってぇ
オレ一人でやる!!
気をつけろ
ここから
油断はないぞ
うん

だが あいつの
得物はおさえて
あるし
こっちにはその
万人斬りも
あるしな

うん
でもこの刀
なんか重い
重い？
ハンマーよか
全然軽いだろ
うん…でも
何かママの物欲し竿と
違って重いっていうか

扱いにくい…
気がす…


おいコラ
!?



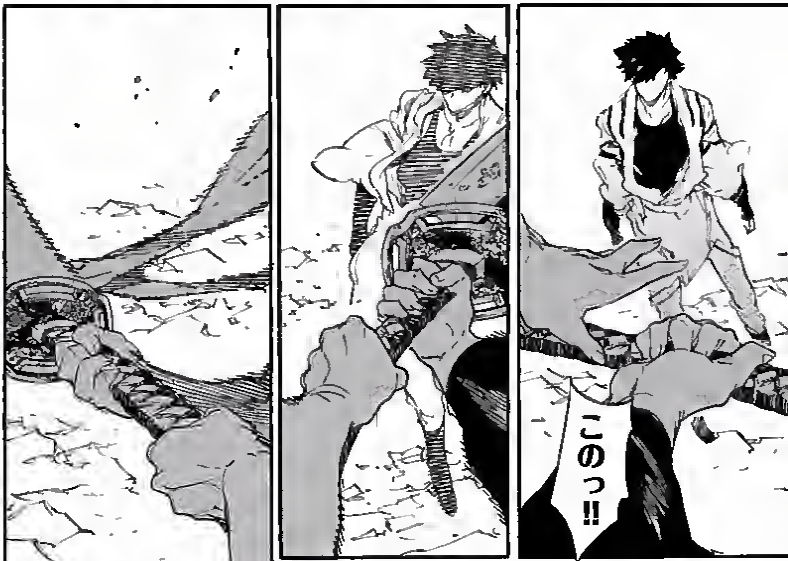
こんな
殺気なのに

近づくの
気付かなかった
おい
ガキ
その剣技
どこで覚えた?

知らない
あ？
知らないこと
あるか
おい
その剣技は

ガシャ
神州俊のモンだろ

ギャリ
なっ
いつの間に
うしろに


このっ!!

また消え……
その見マネの下手くそとは
目と動きがいいのはわかるがよ
百年単位で
年季がちげぇんだよ

がは
身体の丈夫さが自慢みてえだが
ミリ
壊す方法はいくらでもある
ゴゴ
ドラ…
おっとその馬鹿力につかまるのはまずいか…

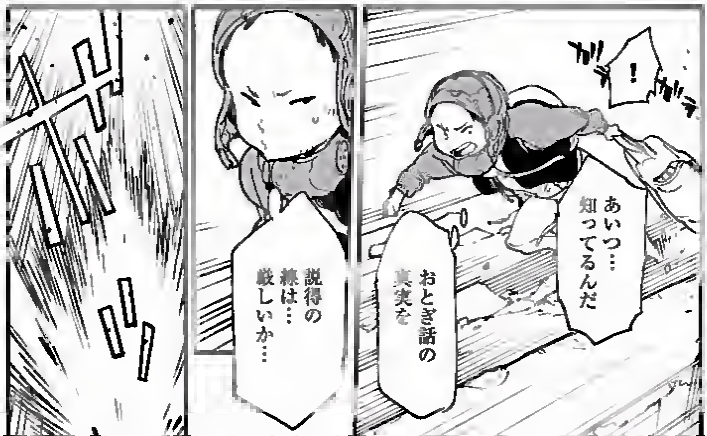
刀 手放してんじゃねぇぞガキ

やりかえされた

……
ガキ…
リュウマなんだろ？
ギ…
知ってるぜ…救世主の名なんだってな…

だがな
オレ達の国じゃ
その名は
仇名だ
お前らが
ジンの名に
災厄を
感じるように

例えそれが
武王の意志
だとしてもだ


！
あいつ…
知ってるんだ
おとぎ話の
真実を
説得の
赫は…
厳しいか…

如
我
貴様らの国
ミズガルズとは
なんだ？
何の理解もなく
ただ安穏と
無意味な業を
重ねてきたと
いうなら…
それは

万死に値する
グルルル…

!?
そうか…

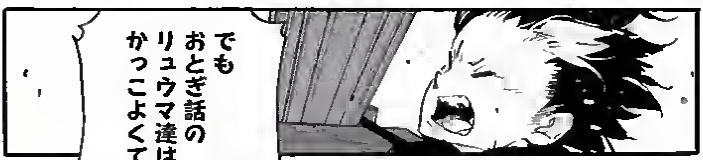
この人の育った環境って…
ケモノ
わかった
この殺気の正体
野性!!

例えそれが
武王の意志だろうと
わからない
僕は…そんなの
知らない…
僕は…

そんなの
知らない!!

てめえ
オレの傘

待ちやがれ
僕は
知らない
ミズガルズ
なんて
全部
おとぎ話の中でしか
知らない!!

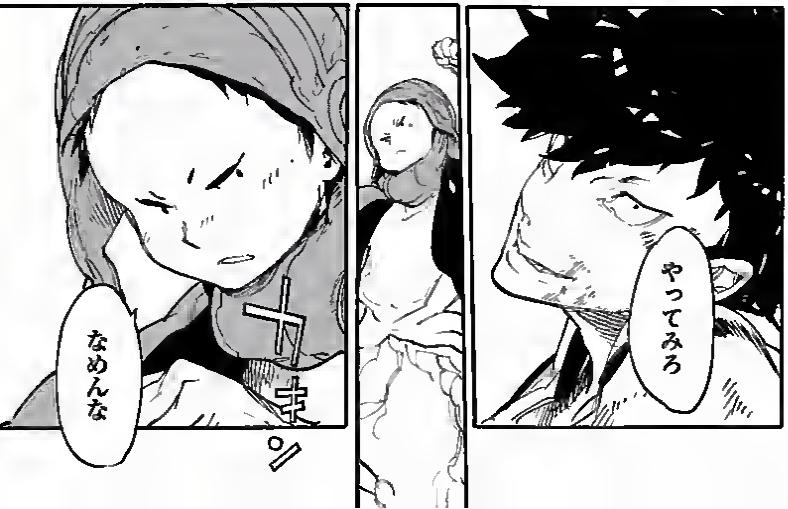

でも
おとぎ話の
リュウマ達は
かっこよくて!!

おとぎ話の中の
人達だって
誰一人
安穏と
なんて
生きてなくて
ママだって
リュウマで
僕はまだ
世界を
おとぎ話
でしか知らない
でも
それは全部
きっと
本当の
ことなんだ!!

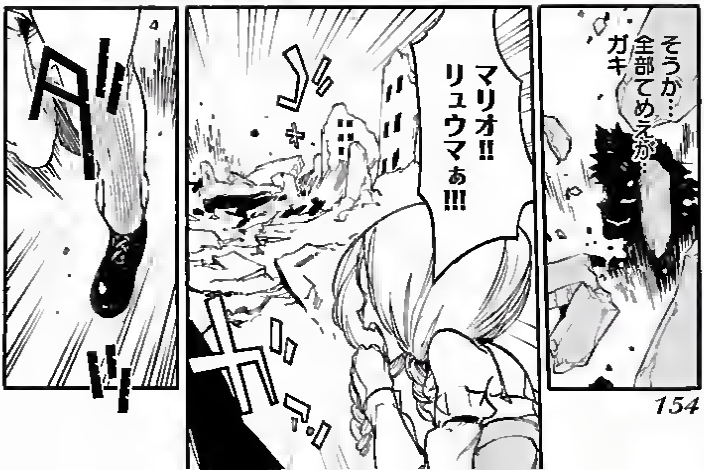
安心しろリュウマ
ツッ…
オレが
知ってるぞ
ミズガルズを
あの街で生きる
人達を誰にも
否定させない
……
廃墟
ガレキの山
誘いこまれ
た!?

ロクサを置いて帰れ
ちょっと!!
そんな位置じゃマリオも巻き込まれるって!!
話ちがうじゃん!!
ひょっとして急ごしらえでコードが足りなかった!?

……
バカ野郎…
寝しろ
バカリュウマ
イラ…
ロクサを置いて帰れさもないと…


やってみろ
なめんな

!!


そうか…
全部てめえが
ガキ
マリオ!!
リュウマぁ!!!
ゾ…
…
ドドドド
ドドドド

リュウマあ
うけとめろ!!
ガシ
ガラ
ガ
ダッ

ゴゴゴ

ありがとう

はっ
何がリュウマだ
大したことぁねえ
どいつも
こいつも…
……
じぃ…
あ？
ガキ
ガキ
うっさいわ!!
そうだよ!!また
一発もらったよ
恥ずかしくて
余裕ぶりたくて
助けたんだよ!!
ちっ
だがな…

第47話／完

キョロ
キョロ
?
…いや…
まだ…
あのキモい
おっさんが
黒幕の可能性が
…まだな…
ガキ
ズキ

リュウマのガゴ

［第48話］

ああ
聞いた聞いた
リュウマ
難民区に現われたっていう…いつだっていうんだよなりすましがよ
で…
見てきたのか？
ああ
それがな
黒髪
東洋の衣装
バカでかい長刀を持って…
そりゃまた

えらく
ステレオタイプ
絵本から
飛び出してきたみたいな
リュウマだな

今どきは
もちっと…
あ?
つの
野郎
なんてぇ
動きしやがる

神州倭あ!!!

ミズガルズは
オレ達の
庭だぞ
オレの部隊が
追いつけねえ
なんて…

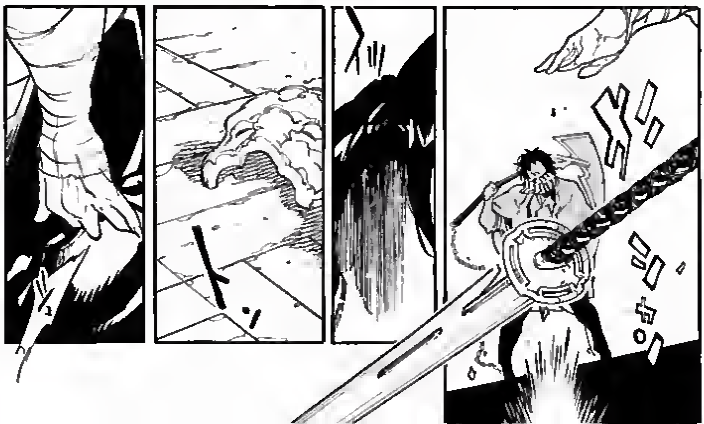
だが
包囲は
破れねえ
時間の問題だ
あとは…

犬!鳥
右舷に
廻りこめ!!
猿と牛は
ついてこい

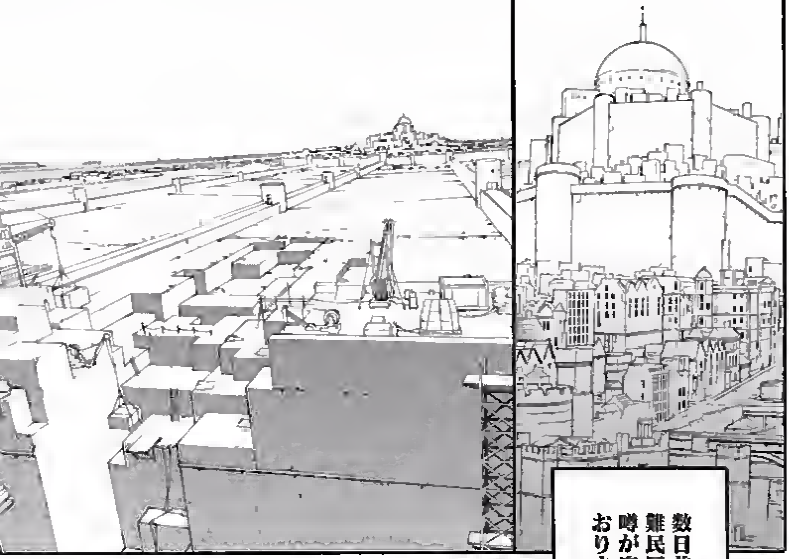
どれだけ被害が出るかだ
ドドドド
ドドドド
ドドドド

当たった!?
って

そこまでだ神州倭



ほう…
引き際も
見事なもんだ
神州侯



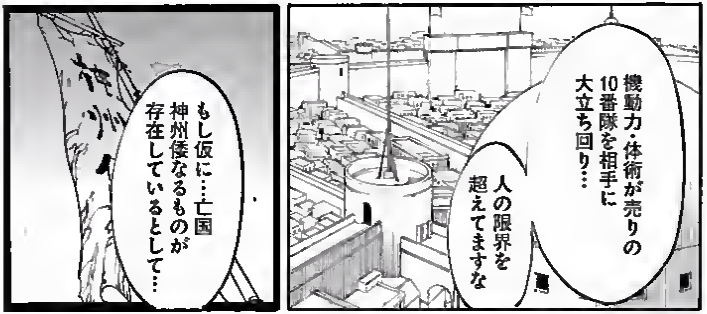
数日前から
難民区で
噂が広がって
おりました

リュウマがいると

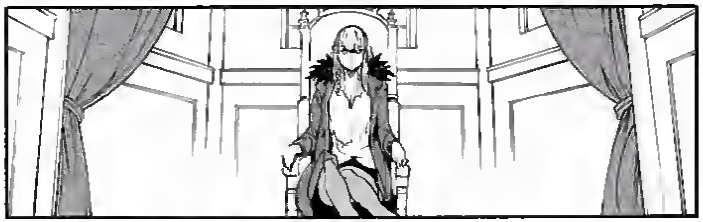
密偵というには
あまりに堂々と
過ごしていたと…

採めごとを その力で
収めてみせたことも
あったと…

どこから
入ってきた？
スヴァジリファリの壁は
今なお修復中です
あれだけの身体能力が
あれば いかようにも
侵入できるでしょう
我がミズガルズの
復興状態も
問題ですが
しかし…
実に興味深い


機動力・体術が売りの
10番隊を相手に
大立ち回り…
人の限界を
超えてますな
もし仮に…亡国
神州倭なるものが
存在しているとして…

その
身体能力も
その退化したと
思われる目も
過酷な環境
故なのでしょうな



立ち回ってる時ぁ
ケモノかと
思ったが…
ったく

鎖で繋がれてなきゃ…
国賓かと思わせる所作だな
なんなんだありゃ
お前はタバコ消せ
この者…
憲兵を切りつけ10番隊と立ち回る前

わかっている…

その目的は…

宣戦布告

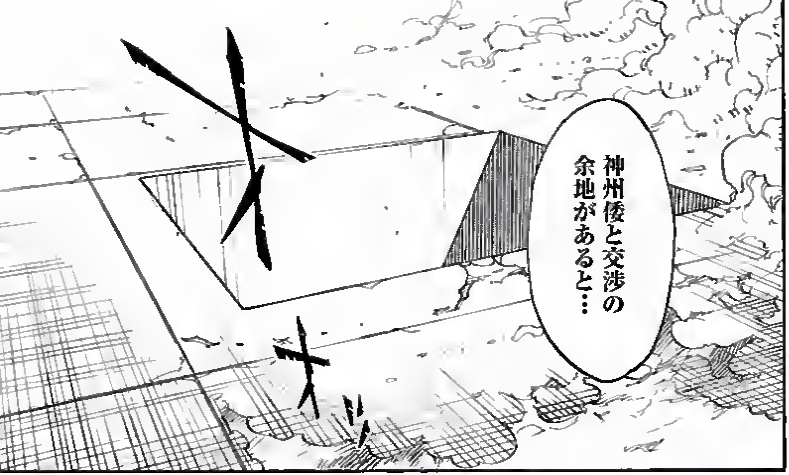
すさまじい殺意だな
ああ…

ちょっと!!その神州侵の人の身体ぜひ私に解体させて下さい
だめだめ!!乱暴にしないで

バカ

ゴゴ
ズン
ズズズズズ
ははは
自爆のおそれがあると言ったでしょうに
わずれてました
ガン
そう 自爆のおそれがあると…
アインス

もちろん安全は
十分考慮
してある…
自らの身を
さらして確かめる
ようなことしといて
よくもまあ…
あんたねぇ
わかっている
私はもう
〝盾〟を失っている
のだからな
……
ゴ
オ
オ
ン
だがな…
ギリギリまで
信じて
いたかった


神州倭と交渉の余地があると…

しかし…

爆風は上へと圧力がかかりますからな
この堀が一番理にかなってるのですよ
なんとかならんのか…この安全装置
パラ…

ですが
こうした
テロまがいな
ことをされると
なると…
いよいよ
間違いないよう
ですな

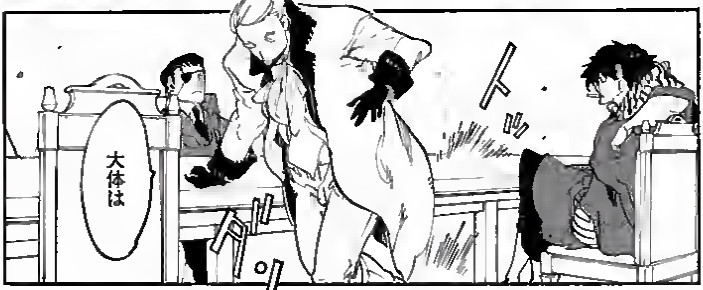
亡国
神州倭の存在
隻腕のリュウマ・
幽玉の巫子である
ヤツハの残したメモリー
圧縮されていた
ハビタブルゾーン
は広がり
千年前の
枝の倒壊に
ともない
神州倭の民が
生き残った
可能性はあった

もちろん
可能性の話で
その環境は想像を
絶するものだった
ことでしょう…
現に先程の
彼の身体には
その片鱗があった
あー解体
したかった

彼らの目的とは…
何故 今になって ハビタブルラインを越えてきたのか？
集団（コミュニティ）の規模は？
んー全ては未知数ではありますが

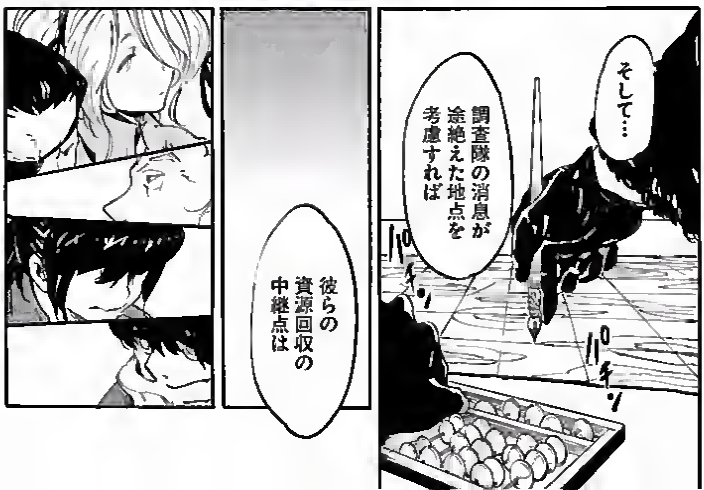
わかっているのは敵意のすさまじさぐらいか…
んーまあ
あとは行動の範囲…及び拠点の位置ぐらいでしょうか

わかるのか？
6年前に折られた枝
その資源を持ち去ったのが彼らだと仮定すれば


大体は

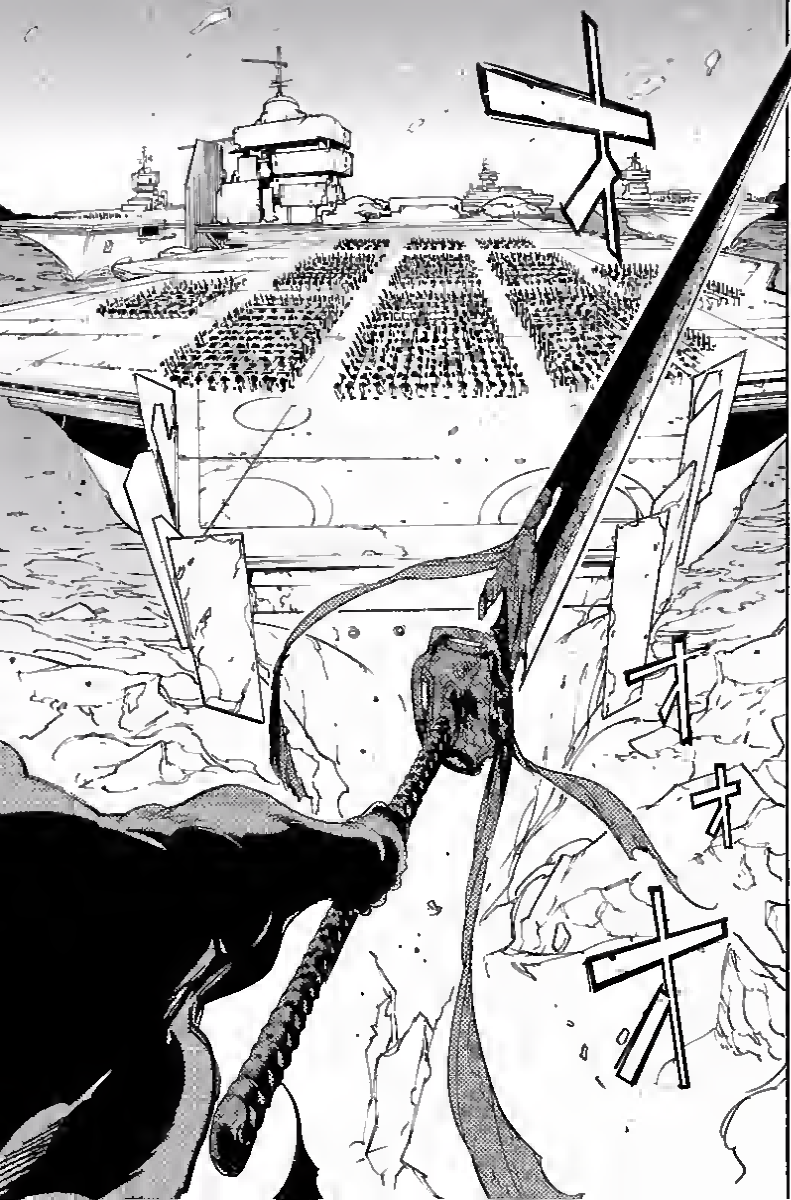
本来ならば
数十年かかっても
回収しきれぬ量
なのですよ
起伏の激しい
あの土地で鉄道でも
敷かないかぎり
海路以外は
ありえない

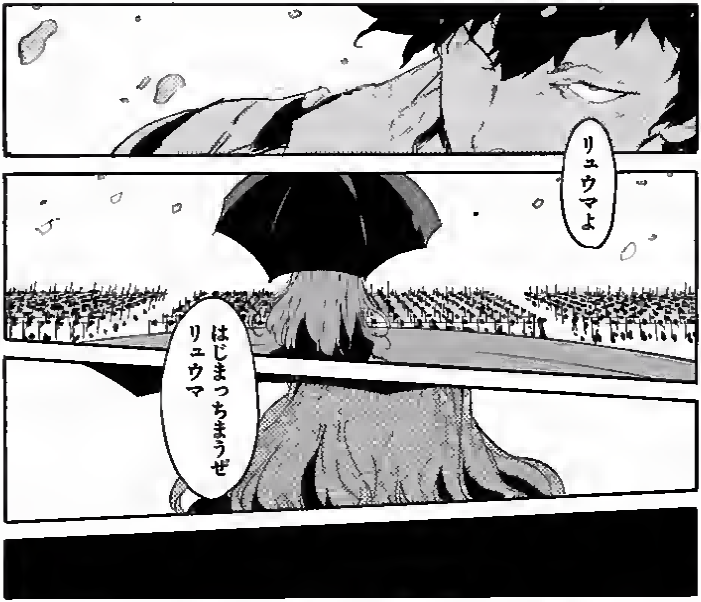
その海路も
ハピタブルラインの
位置を考えれば
相当に限定されます


そして…
調査隊の消息が
途絶えた地点を
考慮すれば
彼らの
資源回収の
中継点は

ミズガルズより
北方1000km
極寒の死海の
ガムダ

お望みの
万人斬りだ


オオオ


リュウマよ
はじまっちまうぜ
リュウマ

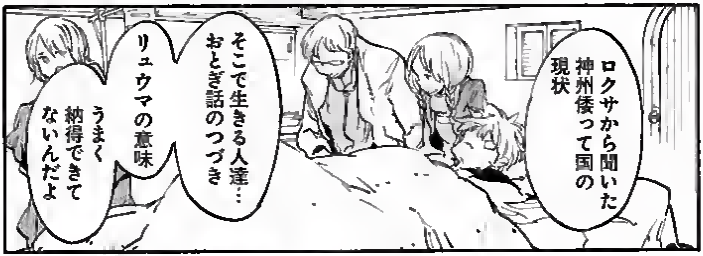
いらないったら
いらないし!!
あんな刀

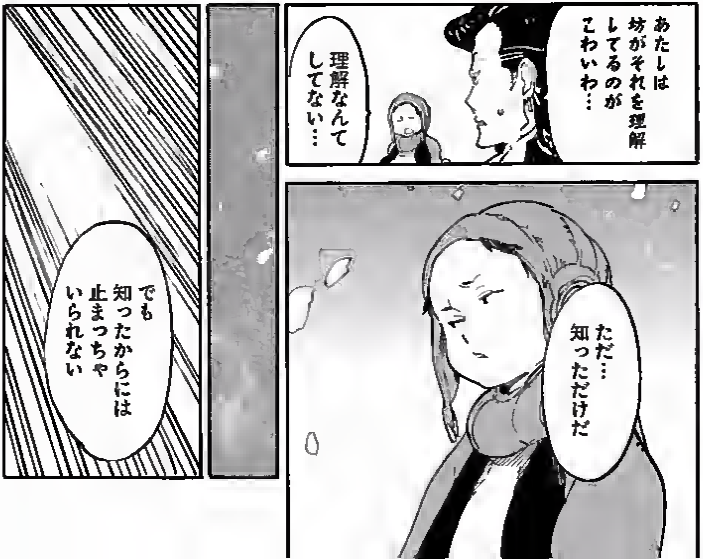
ちょっと
この寒空の下
モチベ落ちるような
こと言わないで
ほしいわ
イン…

あんたら
北方に何か
あんのかい？
数日前にも
変な2人組が
そっち向かったん
だがね…

ほら…
もう追いっけ
ないレ
船
こわれたレ
あんたねえ
あの刀さがして
何年
ディスポーザー
やってきたと
思ってんの
知らないし！
この!!
あ
このママの
物欲し竿が
あれば
充分だし!!

もー
何なのよ
ドガ
…ああ
大丈夫だよ
無茶苦茶
言うときは
大体わかって
るんだよ
あいつ


ロクサから聞いた
神州倭って国の
現状
そこで生きる人達…
おとぎ話のつづき
リュウマの意味
うまく
納得できて
ないんだよ


あたしは
坊がそれを理解
してるのが
こわいわ…
理解なんて
してない…
ただ…
知っただけだ
でも
知ったからには
止まっちゃ
いられない

違う！
こうじゃない
もっと!!
もっと
するどかった
あの人の
剣は
もっと
ずっと!!
はやく
するどく
力強かった!!

第48話／完

To be continued

THE PSEUDONYM OF "RYUMA"

9

リュウマのあとがき SECOND

スペシャルサンクス
松井俊一　小林麻衣子　YACCO
羽賀そーけん　平松亮志　宮下昌樹

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

リュウマのガゴウ

8

宮下裕樹

©2016 宮下裕樹／少年画報社